

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390600167
事業所名	グループホーム咲花新栄

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。地域イベントは昨年度に引き続き感染症対策で中止している。散歩の散歩は欠かさず行い、近隣住民との挨拶を交わし地域の一員として暮らしを継続している。介護や入居相談で地域住民の来訪や問い合わせには、丁寧に話を聴きとり適切なアドバイスをして、認知症専門施設として地域貢献に繋げている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は年6回の開催し、コロナ感染状況から主に社内での開催だったが、今年度は対面での開催も実現させ、運営状況の周知、意見交換等で交流を深め、連携体制を深める事ができた。日常の様子を写真で周知したり、困難事例を挙げて認知症ケアについて話し合う場として活用し、ホームの取組みへの理解を得られている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区窓口には、介護保険手続き等で出向く機会があり、何かあれば電話等で相談して運営に役立っている。生活保護課とは利用者の生活実情を伝え、常に連携を図り協働関係を深めている。困難事例が発生した際には行政への相談も行い、支援の改善に向けて取り組まれた。窓口を広げ、運営の改善や向上に努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 玄関に意見箱を設置している。何かあれば電話や面会時に直接話をする機会を作り、家族の意見は支援に反映する様に努めている。定期的にお便りを作成し、日常の様子や個人写真、コメントを添えて伝え、家族の安心に繋げている。家族面会は居家で時間を取りゆっくり過ごせる配慮をして、利用者家族間の繋がりを大切にしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価										○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○								